

【プロフィール】



石上 阿希 (いしがみ あき)

立命館大学衣笠総合研究機構 ポストドクトラルフェロー
1979年静岡県生。近世文化史。博士(文学)。

グローバル COE プログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」では、日本文化研究班 PD として「版本と版画の美」プロジェクトや「Text & Image」プロジェクトなどに参加、浮世絵・版本の調査及びデジタルアーカイブを中心に活動している。研究対象は近世期の春画・艶本。

論文に「ホノルル美術館レインコレクション蔵 西沢一風作『風流足分船』について 初期上方艶本に関する考察」(『近世文藝』85、2007年)、「西沢一風作『好色極秘伝』考 浄瑠璃段物集・浮世草子との関連」(『論究日本文学』88、2008)、「鈴木春信画『風流座敷八景』考 画中狂歌の利用と図柄の典拠」(『浮世絵芸術』156、2008)がある。

【発表要旨】

「海外所在春画・艶本の調査」

Survey of Shunga and Ehon in Overseas Collections

発表者は若手研究者 ITP 派遣により、ホノルル美術館・大英博物館・ボストン美術館が所蔵する春画・艶本の調査及びデジタル撮影を行った。特にホノルル美術館・ボストン美術館所蔵の資料はこれまで未調査のものであり、今回の派遣で目録を作成できたことは春画研究にとって意義が大きい。本発表では各美術館のコレクションについて述べた上で、これらの調査をふまえた春画・艶本データベースの構想について報告したい。